

# 別府八湯 2016

2016年8月6日

浦 達雄

## 1. 別府八湯の自然

### (1) 地形・地質など

①火山性扇状地 ②鶴見おろし ③別府石 ④別府一万年山断層帯 ⑤中央構造線 ⑥朝見川断層 ⑦亀川断層  
⑧湯けむり(2003年現在、405カ所)

※2001(平成13)年、NHKが公募した「21世紀に残したい日本の風景百選」に「別府湯けむり」が全国2位に選定。※2012(平成24)年9月19日、「別府の湯けむり・温泉地景観」が国の重要文化的景観に選定。

### (2) 山岳・高原

①由布岳 1,583m ②鶴見岳 1,375m ③高崎山 628m ④伽藍岳(硫黄山) 1,045m ⑤大平山(扇山) 815m  
⑥鍋山 620m ⑦城島高原 約700～800m ⑧十文字原高原 500m程度 ⑨金比羅山(戦前の浜脇の観光名所)  
⑩妙見山(現在の銀座裏にあった) ⑪実相寺山 169m 山頂に日本山妙法寺の仏舍利塔(1987年建立)がある。

### (3) 河川・湖沼・溪谷・滝

①流川 ②源左衛門尻川(永石川) ③朝見川(支流としては乙原川、鮎返川) ④境川 ⑤春木川 ⑥平田川  
⑦内山溪谷 ⑧由布川溪谷 ⑨白糸の滝(堀田) ⑩乙原の滝 ⑪志高湖 ⑫神楽女湖 ⑬新川(亀川) ⑭冷川  
(ひやかかわ)：ホテルの名所(亀川) ⑮柴石川(新川上流)

### (4) 湾・島・海岸

①別府湾：菡萏湾。「かんたん」は蓮の花を意味する。  
②瓜生島・久光島：慶長豊後地震(1596年)で沈んだとされる。諸説あり。  
③仏崎：大分市田ノ浦にある小さな岬。1930(昭和5)年、別府三勝に選定。他は志高湖・内山溪谷。  
④スパビーチ：1984(昭和59)年完成。

### (5) 地獄

①海地獄：2009(平成21)年7月23日、別府の地獄として国の名勝に指定。  
②山地獄  
③かまど地獄  
④鬼山地獄  
⑤白池地獄：2009(平成21)年7月23日、別府の地獄として国の名勝に指定。  
⑥血の池地獄：2009(平成21)年7月23日、別府の地獄として国の名勝に指定。  
⑦龍巻地獄：2009(平成21)年7月23日、別府の地獄として国の名勝に指定。  
⑧金龍地獄：ひょうたん温泉が所有。現在、休業中。  
⑨鬼石坊主地獄  
⑩坊主地獄  
⑪鉄輪地獄：現在の陽光荘  
⑫紺屋地獄：現在の別府温泉保養ランド

### (6) 夜景遺産

①グローバルタワー(施設夜景遺産)  
②十文字原展望台(自然夜景遺産)  
③湯けむり展望台(自然夜景遺産)  
④別府湾SA(自然夜景遺産)

### (7) 国立公園

①瀬戸内海国立公園(高崎山など)  
②阿蘇くじゅう国立公園(鶴見岳・由布岳など)

### (8) 温泉統計

①2015(平成27)年3月末現在の別府市(別府八湯)の温泉統計

源泉総数：2,291カ所

利用源泉：1,751カ所。自噴：353カ所、動力：1,398カ所

未利用源泉：540カ所。自噴：142カ所、動力：398カ所

湧出量(L/分)：87,350、自噴：19,911、動力：67,359

温度別源泉数：25℃未満1カ所、25℃以上42℃未満196カ所、42℃以上1,815カ所、噴気279カ所

②2015(平成27)年3月末現在の日本の温泉統計

温泉地数(宿泊施設を伴う温泉地)：3,088カ所

源泉総数：27,367カ所

宿泊施設数：13,278カ所

温泉利用の公衆浴場数：7,883カ所

③国民保養温泉地制度

国民保養温泉地。1954年から。94カ所。

国民保健温泉地。1981年から。21カ所。

ふれあい・やすらぎ温泉地。1993年から。25カ所。

(9)市有温泉 2015(平成27)年度入浴者数(13温泉施設で調査)

全体で136万7,497人利用。1位：堀田温泉19万9,361人・2位：不老泉19万7,531人

3位：浜脇温泉16万9,869人・4位：竹瓦温泉12万9,302人・5位：浜田温泉11万8,401人

## 2. 別府八湯の歴史

### (1)歴史書・図版・人物

①豊後風土記(奈良時代初期に編纂)：赤湯の泉(赤湯泉)(現在の血の池地獄)、玖倍理(くべり)湯の井の記載。

②伊予風土記(奈良時代初期に編纂)：大国主命と少彦名命。

③柴石温泉：895(寛平7)年に醍醐天皇、1044(長久5)年に後冷泉天皇が病氣療養のため湯治。

④大友家：1196(建久7)年、大友能直(よしなお)、豊後国の守護となるが、入国せず、古庄四郎重能(しげよし)(能直の弟とされる)が浜脇に上陸したと言われる。

大友頼泰(よりやす)：元寇、つまり1274(文永11)年の文永の役、1281(弘安4)年の弘安の役で活躍。

大友義鎮(よししげ)(大友宗麟)：1550(天文19)年2月の二階崩れの変の際、浜脇の館に滞在。

⑤一遍上人(時宗)：鉄輪蒸し湯。鎌倉時代の1276(建治2)年に開設と言われる。1277(建治3)年説あり。

⑥豊国紀行：貝原益軒。福岡藩士・儒学者。1694(元禄7)年発行。

⑦別府の庄屋：堀家(西法寺通り)(米屋旅館を経営)・高倉家(流川通り)

⑧伊能忠敬：九州測量のため別府を訪れる。1810(文化7)年。翌年も来別。現在の千葉県九十九里町生まれ。佐原(さわら)の酒造家伊能家の婿養子となる。

⑨鶴見七湯廻記(つるみしちとうのき)：森藩の照湯惣図。江戸末期。

⑩流川下繁盛の図：荒金儀八郎。1862(文久2)年。

⑪二条関白(二条義実)：二条泉(天保時代湧出)(ホテルニューツルタ所有)の由来となる。

⑫井上馨：1865(慶応元年)、別府で湯治。若松屋旅館の離れの2階で潜伏。楠温泉入湯。

1911(明治44)年5月、通称「灘亀親分」(永井亀吉)の墓を建立。

⑬豊後州速見郡濱湧温泉場賑之図：1881(明治14)年。

⑭豊後國別府驛温宗並波戸場一覽圖：明治中期頃発行。

⑮伊藤博文：日名子旅館で病のため湯治する。1893(明治26)年。

⑯ベルツ博士：1899(明治32)年来別。ドイツ人医師。

⑰豊後有名竹瓦温泉及二條泉之図：旅館森屋発行 1911(明治44)年。

⑱式子内親王(しきしないしんおう)。後白河天皇の三女。平安時代末期の皇女。「新古今集」の藤原定家との恋に破れ、観海寺に落ちのびたとも伝えられる。

⑲油屋熊八：1863(文久3)年7月16日～1935(昭和10)年3月24日(72歳で逝去)。愛媛県宇和島市の米問屋の長男として出生。家業のかたわら1890(明治23)年4月、宇和島町議会議員を務める。1892(明治25)年、大阪の時事新聞社の経済記者となる。この時、株取引のノウハウを学び、続いて、大阪市北浜3丁目に米の株取引会社を

立ち上げた。日清戦争(1894~1895年)で大儲けをし、株界では「油屋将軍」と言われ、巨額の富を得た。その金額は当時で200万円、現在では約60億円に相当する。その間、大阪では北浜、東京では日暮里に大きな屋敷(油屋御殿)を構えた。しかし、日清戦争終局時、米相場の株価が暴落し大損をした。1897(明治30)年9月21日、35歳の時に外務省にパスポートを申請した。行き先はサンフランシスコ、目的は商業視察であった。その際、会社所在は大阪府大阪市東速北浜3丁目204番地、身分は東京府北豊島郡日暮里村元谷中東村1134番地 里正(りせい)であった。米国では約3年間滞在し、その間、キリスト教の洗礼を受けた。1900(明治33)年に帰国し、再度、相場師となるがうまくいかず、48歳の1911(明治44)年来別して、亀の井旅館(後の亀の井ホテル)を開業した。

⑳西條八十(1892年~1970年)：公募した「別府音頭」(1933年)の補作をした。作曲は中山晋平(1887年~1952年)。1番から5番まであり、1番は「別府湯の街 ヨサコラ サイサイ 別府湯の街 湯川に湯滝 アリヤサ 一夜千両の ヨサコリヤ サイサイ 一夜千両のお湯が湧く ハイノ ハイノハイノ ヨイショ ヨイショナ ヨイショ ヨイショヨイショ ハイノ ハイノハイ」。

## (2)社寺・教会

- ①海門寺 ②波止場神社 ③中浜地蔵尊 ④西法寺 ⑤秋葉神社 ⑥カトリック別府教会 ⑦住吉神社
- ⑧崇福寺(上人寺) ⑨長覚寺(下人寺) ⑩金比羅神社 ⑪宝満寺(河内) ⑫修福寺(河内) ⑬朝見神社
- ⑭永福寺 ⑮火男火売神社(火売) ⑯信行寺(亀川) ⑰西光寺(亀川) ⑱長泉寺(野田) ⑲八幡竈門神社(内竈)

## (3)歴史地名

- ①荘園：石垣荘(宇佐宮領)・朝見郷(宇佐宮領)・竈門荘(宇佐弥勒寺領)
- ②別府の古称：別符(石垣荘の南の荘園)。別府の集落は平安末期に成立と言われている。

## (4)幕府と森藩

- ①別府は幕府の直轄地
- ②明礬は幕府と森藩で二分

森藩(1.2万石)の山奉行は岡本屋、幕府は現在の湯の里。森藩の温泉は「照湯」。平田川の左岸が幕府領、右岸が森藩の飛び地。照湯は祓川(春木川の上流)の左岸で開発。

## (5)戦い

- ①二階崩れの変：1550(天文19)年。大友氏の内紛・お家騒動。大友義鎮(よししげ)(大友宗麟)が実権を握るきっかけとなった。
- ②石垣原の戦い：1600(慶長5)年。大友義統(よしむね)と黒田如水(黒田官兵衛)
- ③西南の役：1877(明治10)年。
- ④日清戦争：1894(明治27)年7月25日~1895(明治28)年11月30日
- ⑤日露戦争：1904(明治37)年2月8日~1905(明治38)年9月5日
- ⑥第1次世界大戦：1914(大正3)年~1918(大正7)年
- ⑦第2次世界大戦：海軍病院(亀川)・陸軍病院(別府)

## (6)最初の上総掘り 1879(明治12)年説と1889(明治22)年説

明治12年説：万屋儀作(神澤儀作)が仲町の万屋呉服店の敷地内で温泉掘削に成功。儀作は初代別府市長である又市郎の先代。1889(明治22)年説：神澤(かんざわ)又市郎が掘削。

神澤家：丹波(現在の兵庫県)の呉服反物商。儀助⇒儀右エ門⇒儀作(万屋呉服店)⇒又市郎(初代別府市長)  
⇒サイ・儀市(養子)(万屋旅館)

# 3. 別府八湯の産業

## (1)道路・街道

- ①小倉街道(現在の西法寺通り)：現在の流川4丁目を中心。
- ②海門寺みち(銀座裏)：流川から妙見山を通過して、海門寺に至る通り。
- ③中浜筋：鶴見岳の扇状地の扇端に出来た通り。波うち際なので、道路は曲がっている。別大電車が開通して発展。1400年以上の歴史がある中浜地蔵尊が鎮座している。本堂の裏に「一願石」がある。
- ④流川通り：1917(大正6)年整備。暗渠にする。本町橋(流川と小倉街道の交差点)・名残橋(流川下流)
- ⑤海岸通り：1921(大正10)年整備。
- ⑥竹瓦小路：1921(大正10)年12月1日に完成。現存する日本最古の木造アーケード。
- ⑦市区改正：1906(明治39)年の別府・浜脇両村の合併によって別府町が誕生。それを受けて、市街地整備計画を

実施。この事業は18年に及び、1928(昭和3)年完成。

## (2)旅館業

①初期のホテル：別府ホテル(大阪商船経営)・亀の井ホテル

②名門旅館：日名子(府内屋)・米屋(庄屋)・亀の井(油屋熊八)・鶴田(網元)・岡本屋(山奉行)・富士屋(現在のギャラリー—也百・はなやもも)・萬屋旅館(現在のヤングセンター)・常盤屋旅館(現在のヤングセンターの駐車場)など。

万屋旅館：流川通りの4階建ての旅館。竹瓦小路の上にあった。1913(大正2)年完成。

森屋旅館：竹瓦温泉界隈の5階建て旅館。1920(大正9)年建築。1925(大正14)年全焼。

筑後屋旅館：鉄輪で最初に4階建てに増築(大正時代)。昭和初期に筑後屋新館(築新)を新築。

③杉乃井ホテル：日本最大級の温泉旅館(客室数641室、収容定員2,897名)。

2015年度の客室稼働率100%、年間宿泊者数は約70万人。

1938(昭和13)年、杉乃井館として開業(経営者は神戸の貿易商)。1944(昭和19)年8月に石田清が買収開業。

中館(旧本館)(1961年開業)・新館(現在のHANA館)(1966年)・本館(1971年)。

スギノイパレス(1967年)・アクアビート(1993年)・棚湯(2003年)・ザ アクアガーデン(2010年)・ウエディングホール(2012年)・みどり湯(リニューアル)(2015年7月18日)・ワールドダイニング「シーダパレス」(2015年12月25日)

1981年11月、地熱発電所を自家発電用として運転開始。

1988年、労使紛争の激化でロックアウト。1990年、営業再開。錦水園売却。

2001年5月、137億円の負債を抱えて民事再生法の適用を申請する。その際、所有と運営の分離が図られ、運営は加森観光が行い、土地や施設はオリックス不動産が所有することになった。

2008年9月1日、オリックス不動産グループに一元化。2015年3月14日、宇奈月杉乃井ホテル開業。

## (3)鉄道・港湾・船舶

①1871(明治4)年：別府港築港。日田県知事・松方正義が別府を視察した際、海上交通の便を図れば別府の発展が期待されるとの発案から1870(明治3)年2月に着工。

②1973(明治6)年：大阪開商社が蒸気船「益丸」の定期運行開始。日名子太郎に回漕業務を委託。

③1917(大正6)年：流川通りは暗渠となって、8間道路として拡幅。

④1896(明治29)年8月5日：豊州電気鉄道(後の大分交通)設立。2016年、120周年を迎えた。

⑤1900(明治33)年5月：別大電車(豊州電気鉄道)開通。九州初の路面電車。

京都電気鉄道(1895年開通)・名古屋電気鉄道(1896年)・大師電気鉄道(1899年)(後に京浜急行と合併)・小田原電気鉄道(1900年3月)に続く日本で5番目の電気鉄道として開業。

1929(昭和4)年5月1日：別府棧橋前—境川間、北浜—別府駅前間開業。

1956(昭和31)年10月19日：北浜—別府駅前間廃止。

1972(昭和47)年4月：全面廃止。

⑥1911(明治44)年7月：別府停車場(現別府駅)開業。11月：浜脇停車場(現東別府駅)開業。

⑦1920(大正9)年：別府港に大阪商船専用のコンクリート製固定棧橋完成。

⑧1926(昭和元年)：カナダ観光船エンプレス・オブ・スコットランド号(35,000トン)が別府に入港。

⑨1950(昭和25)年：別府国際観光温泉文化都市建設法。

⑩1964(昭和39)年：やまなみハイウェイ開通。1994(平成6)年に無料化。

⑪1967(昭和42)年：港湾機能を別府国際観光港へ全面移転。

## (4)別荘の開発と海岸の埋め立て

①新別府：1914(大正3)年。海地獄(千寿吉彦)(竹田出身)が開発。

②田の湯館(旧松永万八別荘)：1914(大正3)年。2009年解体。

③旧麻生別荘(紅紫迎賓館)：1914(大正3)年。飯塚の炭鉱王麻生太吉の別邸。2006(平成18)年解体。

④鶴水園：1915(大正4)年、鶴水園住宅地埋め立て分譲開始。第2次世界大戦後に旅館増加。

1922(大正11)年：花菱旅館開業。1923(大正12)年：旅館二条館開業。

⑤伊藤別荘：1916(大正5)年。筑豊の炭鉱王伊藤伝右衛門の別荘。1979年解体。1954(昭和29)年から1979(昭和54)年まで実業家の首藤克人が「別府赤銅御殿ホテル」として経営。

⑥中山別荘：1920(大正9)年。2006年解体。山の手町。元は富士紡績の創業者和田豊治の別荘「致楽荘」として

建設。1938(昭和13)年、中山製鋼所を興した中山悦治に所有権が移行。

⑦観海寺：1920(大正9)年。別府観海寺土地株式会社(多田次平)。伊予出身の実業家。1931(昭和6)年10月大火。1922(大正11)年、観海寺橋開通。

### (5)劇場

1914(大正3)年開設の松原公園界限には、劇場として松涛館、映画館として松栄館と世界館などがあった。

### (6)庭園・公園

①躑躅園：1904(明治37)年。

②別府公園：1977(昭和52)年開設。昭和天皇御在位50年記念公園の指定を受けて整備。

元は駐留米軍のキャンプ、続いて、陸上自衛隊別府駐屯地として使用された。

③浜脇公園：現在の浜脇中学校の場所。大友家の館の跡と言われる。

④松原公園：1914(大正3)年開設。九州の浅草と称される。

⑤上人ヶ浜公園：一遍上人の上陸地と言われる。

⑥海門寺公園：2003(平成15)年リニューアル。

⑦大谷公園：2008(平成20)年4月リニューアル。足岩盤湯などを整備。大谷光瑞(浄土真宗本願寺第22世門主)。大谷探検隊を組織して中央アジアを探検。1947年来別して亀川国立病院入院。1948(昭和23)年、鉄輪別荘で逝去(73歳)。

### (7)観光・遊園施設

①湯の花小屋：江戸時代の明礬製造がルーツ。現在、脇屋商会と岡本屋などが製造している。湯の花製造技術は、1968(昭和43)年に「別府明礬温泉の湯の花製造技術」として別府市の無形文化財に指定、2006(平成18)年には同名で国の重要無形民俗文化財にも指定されている。

②別府地獄めぐり：海地獄が1910(明治43)年に遊覧施設を整えて入場料を徴収開始。

なお、海地獄・血の池地獄・白池地獄・龍巻地獄は2009(平成21)年7月に、別府の地獄として国の名勝に指定されている。

③ひょうたん温泉：河野順作、妻マツのために、1922(大正11)年開業。1927(昭和2)年、瓢箪閣開業。高さ18m・7階建ての展望台。観光ミシュランガイド三ツ星獲得。

④鶴見園：1925(大正14)年開園。九州の宝塚と称される。

⑤ラクテンチ：「別府遊園」として1929(昭和4)年開園。

⑥高崎山自然動物園：1953(昭和28)年開園。

⑦別府タワー：1957(昭和32)年開業。90m。

名古屋テレビ塔(1954年)・通天閣(1956年再建)に次ぎ、日本で3番目に建てられた高層塔。

⑧別府ロープウェイ：1962(昭和37)年開業。

⑨大分マリンパレス水族館：1964(昭和39)年開園。

⑩城島高原パーク：1967(昭和42)年3月、「キジマモートピアランド」として開園。

⑪九州自然動物公園アフリカンサファリ：1976(昭和51)年開園。

⑫ハーモニーランド：1991(平成3)年開園。

⑬グローバルタワー：1995(平成7)年開業。ビーコンプラザの付帯施設。125m。

### (8)博覧会など

①中外産業博覧会：1928(昭和3)年開催。別府市の市制施行5周年を記念して開催。

②別府国際温泉観光大博覧会：1937(昭和12)年開催。別府と阿蘇・雲仙・長崎とを結ぶ国際観光ルート構想を契機に開催された。また、1935(昭和10)年に別府市と亀川町・石垣村・朝日村との合併を記念する意味合いもあった。

③別府温泉観光産業大博覧会：1957(昭和32)年開催。

やまなみハイウェイ(九州横断道路)の着工を記念して開催された博覧会。

④別府八湯温泉泊覧会：第1回は2001年秋に開催。

⑤別府現代芸術フェスティバル「混浴温泉世界」：第1回は2009年開催。3年ごとに開催。2015年の第3回で終了。

### (9)伝統産業・名物

①竹細工 ②つげ細工 ③湯の花 ④ざぼん漬 ⑤花卉 ⑥別府冷麺 ⑦別府とり天

- ⑧城下(しろした)カレイ ⑨フグ 帝国連合艦隊・皇族などが高級料亭「なるみ」を利用  
⑩長寿味噌(坂本長平商店)(明治43年創業) ⑪フジヨシ醤油(昭和23年創業) ⑫友永パン屋(大正5年創業)

#### (10)発電

##### ①火力発電

1902(明治35)年、日本で2番目の火力発電所建設。1904(明治37)年、別府町で一般家庭などにも電気が供給される。1887(明治20)年、東京電灯が第二電灯局を建設、日本初の火力発電所が誕生(出力25kW)。(未確認)

##### ②地熱発電

1919(大正8)年、海軍中将・山内万寿治が別府市で噴気孔掘削に初めて成功。その後事業を引き継いだ太刀川平治博士が1925(大正14)年に日本最初の地熱発電(出力1.12kW)に成功。場所は坊主地獄の東側で、鉄輪地獄地帯公園の林の中。これに先立つて、1917(大正6)年、亀川出身の高橋廉一(亀川村庄屋の高橋敬一の子息)が火栗町に2階建ての研究所を建て私財を投じて研究開発を開始。

#### (11)病院・伝染病

- ①海軍病院(亀川) ②陸軍病院(別府) ③朝見病院 1898(明治31)年7月、鳥潟恒吉 ④野口病院 1922(大正11)年7月、野口雄三郎、甲状腺疾患の研究治療) ⑤九州大学病院別府病院 1931(昭和6)年、温泉を活用した温熱療法等の研究 ⑥浜脇のコレラ 1879(明治12)年などで発生

## 4. 別府八湯の文化

### (1)作家

①織田作之助(1913年～1947年)：「夫婦善哉」・別府三部作(雪の夜・湯の町・怖るべき女)。2007(平成19)年には鹿児島県で「続・夫婦善哉」が発見された。夫婦善哉は、別府に住んでいた次姉夫妻がモデルとされる。次姉夫妻は、第2次世界大戦後、別府駅裏で旅館「文楽荘」を営業した。

②三島由紀夫(1925年～1970年)：1958(昭和33)年、新婚旅行で杉乃井館に宿泊。地獄めぐりを行なう。

③川端康成(1899年～1972年)：「続千羽鶴」。1952(昭和27)年10月来別。

④菊池幽芳(1870年～1947年)：大阪毎日新聞の記者。作家。「別府温泉繁盛記」「百合子」。別府宣伝のため1907(明治40)年10月に招かれる。

⑤徳田秋声(1872年～1943年)：「西の旅」「観海寺の五日」。近代自然主義の代表作家。1903(明治36)年2月末から1カ月間別府で療養。

⑥林真理子(1954年～)：「白蓮れんれん」。1994(平成6)年発行。白蓮と宮崎龍介との大正の恋物語。

⑦ポール・クローデル(1868年～1955年)：1921(大正10)年から6年間、駐日大使を務めたフランスの外交官。詩人。1924(大正13)年と1926(大正15)年に別府を訪問。詩碑は1968(昭和43)年9月に建てられ、現在は北浜公園の中にある。

⑧竹久夢二(1884年～1934年)：1918(大正7)年来別。長崎旅行の途中、愛人・笠井彦乃と別府に立ち寄ったが、彦乃は肺結核が悪化。中田医院(現在の楠銀天街下の旭通り沿いにあった)に入院中の彦乃を約1カ月見舞った。

⑨与謝野晶子(1878年～1942年)：油屋熊八の招きに応じて、1931(昭和6)年10月、与謝野寛・晶子夫妻が来別し、亀の井ホテルに宿泊。

⑩斎藤茂吉(1882年～1953年)：1921(大正10)年3月、ドイツに留学するので、長崎から東京に帰る途中で、東大医学部の同窓であるの鳥潟豊博士を尋ねるため来別。

⑪高浜虚子(1874年～1959年)：1920(大正9)年、鉄輪の富士屋旅館に宿泊。日本八景に温泉の部門で選ばれた別府温泉を高浜虚子が執筆。

「日本八景」1927(昭和2)年7月6日発表。(東京日日新聞と大阪毎日新聞の共同企画・鉄道省後援)。

⑫柳原白蓮(1885年～1967年)：大正時代から昭和初期にかけての歌人。柳原燐子(あきこ・白蓮)は京都の伯爵家に生まれた。16歳の時、養女先の子息と結婚させられたが、すぐに離別。1911(明治44)年、27歳の時、筑豊の炭鉱王である伊藤伝右衛門と再婚する。別府の赤銅御殿と呼ばれた別荘での生活が始まるが、その後、1921(大正10)年、青年社会運動家である宮崎龍介と駆け落ち。2016年は生誕130周年。

⑬丸山待子(1893年～1941年)：歌人。29歳で夫と死別後、実家である小松屋へ戻り、1928(昭和3)年に浅利良道などと共に「大分歌人」を創刊した。野口雨情・与謝野晶子なども訪れ、小松屋は文化サロンとして機能した。

⑭浅利良道(1897年～1977年)：歌人。大分県短歌界の重鎮。1934(昭和9)年、大分合同新聞(当時は大分新聞)の歌壇選者となる。生誕地は現在の西法寺通り。旧国道(小倉街道)では「仲町」。旧屋号は満足屋。

- ⑮奥野他見男(1889年～1953年)：「別府夜話」。1925(大正14)年発行。書き出しは「別府に怪しいものがある。家族風呂だ」。1921(大正10)年に落成した不老泉のことを書いている。
- ⑯若山牧水(1885年～1928年)：現在の日向市で生まれる。1925(大正14)年、妻と共に九州各地に出かけ、母を連れて別府で保養する。
- ⑰阿川弘之(1920年～2015年)：1953年、学徒兵体験に基づく「春の城」で読売文学賞を受賞。「雲の墓標」(学徒出陣した特攻隊員の苦悩をテーマとする)。亀川では「かぢや(かじや)旅館」、別府では本屋・千疋屋・散髪屋などが登場する。
- ⑱倉田紘文(1940年～2014年)：俳人。「露」(フキ)を主宰。「鉄輪俳句筒・湯けむり散歩」の選者。
- ⑲内田百間(1889年～1971年)：夏目漱石門下生。1955年から1960年まで『阿房列車』執筆。杉乃井館が登場する。

## (2)句碑・歌碑・記念碑

### ①芭蕉塚

- 西法寺 「古池やかかはづ飛び込む水の音」  
 長松寺 「むすぶよりはや歯にひくく清水かな」  
 長覚寺 「月かけや四門四宗も只ひとつ」  
 海門寺 「作り木の庭をいさめる時雨かな」

### ②油屋熊八の碑 (別府公園)

- ③柳原白蓮の歌碑 (青山町) 「和田津海の 沖に火もゆる 火の国に われあり 誰ぞや 思われ人は」  
 ④野口雨情の歌碑 (鉄輪温泉) 「豊後鉄輪 むし湯の帰り 肌に石菖の香が残る 枕十六 蒸し湯の中に誰が 練るやら 来るのやら」  
 ⑤伊能忠敬測量の地記念碑(流川4丁目角)

## (3)有名建築(近代化遺産)

- ①千辛万苦の場(若松屋旅館・離れ)：江戸時代末期 設計は不詳  
 ②野口病院：1922(大正11)年 不詳  
 ③京都大学地球熱学研究施設：1923(大正12)年12月竣工 永瀬狂三(1877年～1955年)設計  
 1924(大正13)年11月 研究及び業務の開始  
 ④駅前高等温泉、寿温泉：1924(大正13)年 不詳  
 ⑤別府市中央公民館(旧別府市公会堂)：1928(昭和3)年 吉田鉄郎(1894年～1956年)  
 ⑥別府市児童館：1928(昭和3)年 吉田鉄郎  
 ⑦聴潮閣：1929(昭和4)年 不詳  
 ⑧平尾邸：1917(大正6)年 不詳  
 ⑨浜田温泉資料館(旧浜田温泉)：1935(昭和10)年 池田三比古(1893年～1979年)  
 ⑩竹瓦温泉：1938(昭和13)年 不詳  
 ⑪別府タワー：1957(昭和32)年 内藤多仲(1886年～1970年)

## (4)祭り・イベント

- ①別府八湯温泉まつり：2016年で102回開催となる。  
 ②鉄輪温泉湯あみ祭り：一遍上人の徳を称え、温泉の恵みに感謝する祭り。  
 ③湯けむり工芸展：かんなめ会によるイベント。  
 ④浜脇薬師祭り：1400年の歴史がある。花魁道中と風流見立て細工。  
 ⑤別府アルゲリッチ音楽祭：1999(平成11)年開催(第1回)。2016年で18回開催となる。  
 ⑥海上渡御民芸振興祭：住吉神社の夏季大祭。  
 ⑦別府大分毎日マラソン大会：2016年で65回開催となる。  
 ⑧べっぷクリスマス Hanabi ファンタジア：1994(平成6)年開催(第1回)。  
 ⑨べっぷ鶴見岳一気登山大会：2016年で29回開催となる。  
 ⑩別府八湯竹瓦倶楽部：2000年、竹瓦かいわい路地裏散歩開始。  
 ⑪鉄輪愛耐会：1982年設立。鉄輪ごよみ(湯けむり散歩)を発行(選者は倉田紘文)。  
 ⑫別府八湯温泉道：2001(平成13)年3月25日スタート。

## (5)ゆかりの著名人

- ①稲尾和久(1937年～2007年)：プロ野球選手。波止場神社近くで住む。父は漁師で、網元は鶴田家。
- ②今宮健太(1991年～)：福岡ソフトバンクホークス。2015年4月21日、別府特別観光大使就任。
- ③山下久美子(1959年～)：ミュージシャン。2016年で35周年。
- ④大塚博堂(1944年～1981年)：シンガーソングライター。
- ⑤琴別府要平(1965年～)：大相撲力士。
- ⑥錦野旦(1948年～)：別府緑ヶ丘高等学校卒業。当初、器械体操部に所属。
- ⑦荒巻淳(1926年～1971年)：別府星野組。第20回都市対抗野球大会(1949年)で優勝。和製火の玉投手。
- ⑧岡本太郎(1911年～1996年)：緑の太陽(陶板壁画)(別府市田の湯町15 サンドラッグビル)。1969年、ビルのオーナーである佐藤定人が製作を依頼。

#### **(6)文化・集客・スポーツ施設・その他**

- ①別府市立美術館：1950(昭和25)年会館。佐藤慶太郎(北九州市の実業家)の寄付金による。現在地では1984年開館。2016年7月1日、老朽化によって休館。
- ②大分香りの博物館：1996年開館(豊後大野市の県民の森)。2006年3月末閉鎖。2007年11月、別府大学別府キャンパス内で開館。
- ③ビーコンプラザ：1995年開館。大分県出身の建築家・磯崎新(1931年～)による設計。
- ④別府市総合体育館「べっふアリーナ」：2006年開設。
- ⑤別府市民球場(別府稲尾球場)：2007年開設。
- ⑥太陽の家：1965(昭和40)年開設。中村裕(1927年3月30日～1984年7月23日)医師が設立。作家の水上勉(1919年～2004年)が命名。